

令和2年度 事業報告書

I. 国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努める。

1. 第38回 まつやま中学生海外派遣

中学生を姉妹・友好都市へ派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により止む無く中止した。

また、派遣事業への応募には中学生チャレンジプロジェクトの登録・参加を必須条件としているが、令和3年度に実施予定の派遣事業は誰でも応募できることとし、今年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止した。

2. 大学生海外派遣事業

友好交流都市・台北市の同世代との交流を通して、現地の現状を知り、国際性豊かな人材を育成することを目的に、松山市内の大学生を台北市へ派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により止む無く中止した。コロナ禍でも実施できる交流事業を検討し、代替事業として、ウェブ会議システムを利用した台北市と松山市の大学生による俳句会を開催した。

(1) 参加者

台湾側：令和元年に松山市が俳句ポストを贈呈している台湾大学を選抜。

松山側：俳句甲子園の出場経験者が多く、同大会実行委員会の運営にも関わっていることなどから愛媛大学を選抜。

(2) インターネット俳句会

日 時：11月24日 16:30～17:30

会 場：坂の上の雲ミュージアム2階ホール及び台湾大学

参加者：台湾大学 日本語文学科の学生 25名

愛媛大学 俳句研究会の学生 5名

交流内容：自己紹介動画の交換、相手側の句に対する感想の発表、審査員から優秀作品の発表・講評、学生同士での意見交換

3. 海外からの親善訪問団等受入

姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ、親睦を図るほか、海外からの文化・スポーツ・教育関係者など、様々な個人・団体が来松した機会を捉え、市民との交流

機会を創出し、国際理解の促進に努める。

・フライブルク市民訪問団

フライブルク市からの市民訪問団が来松予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

4. 地球人まつり

通算24回目となる「地球人まつりオンライン in まつやま・えひめ」を、E P I Cとの共催により開催。例年地域で暮らす外国人住民との直接的な交流や相互理解を目的に実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全てオンラインで実施した。

- ・日 時：動画配信期間 (YouTube) 3月1日～7日
ライブイベント (Zoom) 3月6日・7日 10:00～17:00

・内 容：

- (動画配信)・県内在住外国人等による世界の舞踊や音楽のパフォーマンス
- ・世界の民族衣装のファッションショー
 - ・世界で暮らす松山にゆかりのある人たちの日常生活動画
 - ・県内の国際交流団体紹介 (E P I C担当)

(ライブイベント)・松山にゆかりのある外国人とのオンライン交流会

- ・世界の国に関するクイズ
- ・韓国とつないでのオンラインメイクイベント
- ・県内の国際交流、国際協力団体の活動紹介 (E P I C担当)
- ・県国際交流員による文化体験イベント (E P I C担当)
- ・外国人生活相談 (E P I C担当)

<動画配信>

イベント名		再生回数
パフォーマンス de 世界の旅	「My Ballade」 ZOOM de 合唱	237
	「Bole chudiyani」 Bollywood dance	147
	「Bless the Broken Road」 ウクレレ演奏	277
	「SWANGE DANCE」 ナイジェリアダンス	118
民族衣装 de 世界の旅		241
あつまれ！ 松山ファミリー	シンガポール	115
	セネガル	319
	トルコ	116
	インドネシア	288
	ブラジル	132
	アメリカ	163
	タイ	140

	ルーマニア	150
合 計		2,443

<ライブイベント>

イベント名		参加者数
あつまれ！ 松山ファミリー	第1回：タイ、ルーマニア セネガル、トルコ	14
	第2回：シンガポール、インドネシア アメリカ、ブラジル	10
挑戦！韓国メイクで大変身！！		18
とけるかな？世界おもしろクイズ！		8
合 計		50

5. フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）の収穫に合わせ、例年外国人市民と日本人市民が参加するイベントを実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、収穫体験は中止とし、かわりにフライブルク市とオンラインで繋ぎ、現地との交流を通してソラリスについての理解を深めた。

○ぶどう活用イベント

日 時：8月19日

参加者：

フライブルク側：ワイナリー代表（市議）、ワインクイーン、現地協力員

松山側：21人（うち Zoom 参加2人）

内 容：フライブルク市およびソラリスの紹介

オンラインによるフライブルク市との交流

II. 共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域の国際理解を深め、多文化共生の推進に努める。

1. 外国語としての日本語教室

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人住民を対象とし

た「今すぐ日本語～くらしの情報広場～」も開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報も提供した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期は対面の講座実施は中止し、一部オンラインで実施した。

講座名		曜日	時間	年間回数 (回)	登録者数(人)	
					前期	後期
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	15		6
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	15		4
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	15		5
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	15		6
	初級Ⅱ	火曜	18:30～20:00	15		5
週末	今すぐ日本語	土曜	13:30～15:30	15 (うち5回は オンライン)	7	11

○託児サポート：子どもを持つ外国人市民も受講できるよう託児サポートを実施。

・利用者：なし

○「今すぐ日本語」では、生活情報提供等を行ったほか、フィールドワークも実施。

2. 留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対し、助成を行った。

団体名	事業内容	助成金額 (総事業費)
シリキリヤサポートクラブ	市民に呼び掛け、まだ使える生活必需品や余剰品を集め、留学生に提供する活動を実施。年間で225回を超える収集や提供を行った。主な提供品は洗濯機や冷蔵庫・電子レンジなどの家電用品、机、棚など。 主な経費：倉庫使用料、車借上げ料、ガソリン代など	300,000円 (550,759円)

3. 外国人のための無料行政書士相談

愛媛県行政書士会・松山支部との連携により、まつやま国際交流センター会議室を会場に毎月一回無料の行政書士相談を実施し、外国人市民の行政手続きや契約等に関する相談に応えた。

- ・開催日：毎月1回(原則第2水曜日)
- ・時間：13:30～15:30の間 一人30分程度
- ・場所：コムズ4階 国際交流会議室
- ・相談件数：11件
- ・主な相談内容：在留資格・ビジネスに関することなど

4. 国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	6月13日	【Zoom de おしゃべり】 マレーシア出身のゲストに Zoom 上でマレーシアについて紹介してもらい、おしゃべりを楽しんだ。	7
2	8月19日	【あなたの知らないソラリスの世界 ～つながろう！姉妹都市シリーズ～】 ドイツ・フライブルク市とオンラインで繋ぎ、現地との交流を通してソラリスについての理解を深めた。 (フライブルク市寄贈ぶどう活用事業として実施)	21
3	11月29日	【ディスカバーゴールド？ツアー ～つながろう！姉妹都市シリーズ～】 アメリカ・サクラメント市出身のゲストと、松山市内のサクラメントに関連する場所を一緒に回りながらウォーキングツアーを楽しんだ。	9
4	3月中旬 ※えひめCATVで 複数回放送	【あなたは知ってる？～台湾的豆知識～】 ＜コムズフェスティバル事業として実施＞ 台湾出身のゲストを招き、クイズを中心に台湾に関する豆知識を紹介してもらった。 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施形態を会場参加から動画配信に変更した)	—
合 計			37

5. ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成やコミュニケーション能力の向上を目的とした講座を開催するなど、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

(1) 国際理解教育の支援

学校からの依頼を受け、授業へ留学生らを派遣したほか、職員による出前講座を実施するなど、「国際理解教育」への支援を行った。

内 容	小 学 校	中 学 校	そ の 他
① 職場体験／出前講座	1回 (133人)	—	1回 (5人)
② 学校等への外国人派遣	1回 (4人)	—	—

※延べ人数、①は参加生徒数 ②は派遣した外国人人数

(2) コスモリアン教室

JICA四国や地域で暮らす外国人の協力を得て、青少年の異文化体験や国際理解に努めた。なお、令和2年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止としたため、その代替事業として、ジュニア国際交流サロンを実施した。

	月 日	内 容	参加者数 (人)
1	7月 5日	【ゲーテトーク！ドイツ・フライブルク編】 松山の姉妹都市であるフライブルク出身のゲストを招き、ドイツ・フライブルクの生活、文化の違いなどについて紹介を受けた後、ドイツに関するクイズを通して交流した。	21
2	9月27日	【のぞいてみよう！国際協力の世界】 ≪ JICA四国との連携 ≫ ○元青年海外協力隊員体験談：コスタリカ ○ワークショップ：世界地図を作成し、スタンダードな世界地図は普段見慣れたものとは異なっていることに気付き、違う視点や相手の立場から見ることの大切さを学んだ。	2
合 計			23

(3) ESDコーディネーター派遣

ESD（持続可能な開発のための教育）の専門家であるNPOを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

各校での活動に際しては、松山市内で国際協力を実施している団体とも連携し、学習や活動をより身近なものとして感じる工夫がなされた。

	学 校	内 容
1	北条小学校 6年生 62名 (1回)	どのような色に平和のイメージがあるのか共有したうえで、世界の国には平和を象徴した色を国旗に取り入れている国もあることを紹介した。その後、モザンビーク、フィリピンについて、国旗の色も紹介しながら各国の現状や、松山から現地を支援している団体の活動状況を学習し、自分達にできる活動を考えた。
2	清水小学校 6年生 85人 (2回)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで実施した。世界の貧困や飢餓、気候変動などの地球規模の問題について紹介し、私たち一人一人がSDGsに取り組んでいく必要があることを説明した。SDGsの活動を自分の身近なものと感じ、何か自分にできることはないかと考え、自分と世界のつながりを感じられる機会となった。
3	新玉小学校 1～6年生 530人 (計6回)	① 3年生 モザンビーク出身の留学生にポルトガル語でのあいさつや握手の仕方、カプラナ（アフリカ伝統布）の使い方を教わったほか、太鼓やマサラ笛の体験を行い、実際にモザンビークの文化に触れ親しみを持つことができた。 ② 4年生 モザンビーク出身の留学生と実際に交流し、現地の小学校の様子やポルトガル語の歌の紹介が行われた。グループ活動では、ゲーム感覚で国旗の色や模様の意味、国の形などモザンビークについて学んだ。

		<p>③ 5年生 モザンビークの概要、都市部の様子や食事、ごみ問題を紹介した後、支援先の農村部の暮らしや最近の公民館の状況、コロナ禍でも行われているマスクづくりや刺繍など現地での活動について紹介した。(松山市 SDGs 冊子活用)</p> <p>④ 6年生 貧困者や学校に通えない子どもたち、食料廃棄や環境破壊による気温の上昇など、地球の抱える問題について紹介した。また、当校はモザンビーク支援活動を始めて10年目を迎えるにあたり、これまでの取り組みを振り返りながら、これからも自分たちにできることを考える機会となった。(松山市 SDGs 冊子活用)</p> <p>⑤ 全学年 当校のユネスコスクール登録10周年記念「ユネスコスクールDAY」に合わせ、モザンビーク出身の留学生や大学生を招いて、全校生徒を対象に、スタンプラリーや学年での活動、モザンビーク料理の給食が提供され、あらためて平和や国際理解について考える1日となった。</p>
4	味生第二小学校 5年生 94人 (計2回)	フィリピンで支援活動を行う松山市内の団体代表の講師とフィリピン出身の外国人とともにフィリピンの現状について学習したほか、フィリピンのラクソン小学校と、インターネットで交流を行った。
5	雄郡小学校 6年生 69人 (計4回)	世界の課題に目を向けられるよう、世界の貧困、学校に行けない子どもたちがいることや、食品ロスなどについて学習した。また、松山からモザンビークを支援している団体の活動状況を紹介し、平和な社会づくりの大切さと国際協力活動への関心を高める機会とした。
6	道後中学校 2年生 175名 (1回)	11月27日にキャリア教育を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。

(4) 外国語（英語）de おしゃべりジュニア編

中学生とネイティブスピーカーがグループになり、遊びやゲームを英語だけでやり取りすることで、楽しみながらコミュニケーション能力の向上を図った。

月 日	内 容	参加者数 (人)
8月21日	自己紹介、質問タイム、ゲームほか	中学生 6 外国人市民 4
	合 計	中学生 6 外国人市民 4

6. 地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、文化行事やお祭り等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への溶け込みと多文化共生を図る。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により地域行事が中止となったため、実施できなかった。

Ⅲ. 基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や、団体の活動活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努める。

1. 国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。

○入門講座

- ・日 時：10月4日
- ・受講者数：33人
- ・内 容：「ボランティアとしてのかかわり方？」

JICA 四国 山下将一氏による講話とワークショップ。一口にボランティアと言っても、様々な形のボランティアがあること、堅苦しく考えずに、行動を起こしてみることの大切さなどについて学んだ。

○国際交流団体による活動紹介

- ・日 時：10月11日
- ・受講者数：36人
- ・内 容：市内で活動する国際交流10団体による活動紹介の後、個別に質問等のできる時間を設け、マッチングを図った。

2. 交流ボランティアのための語学講座

地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を生かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。

また、これらの受講者を含めてボランティアガイドに登録し、活動してもらうことで、市民参加の拡大に努めた。

(1) ボランティア語学講座

観光・文化施設の案内など、外国語観光ガイドに必要かつ実践的な語学の習得を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期の授業は中止し、後期は定員をこれまでの半分以下にして実施した。

講座名		前期 (4～9月)	後期	
			10～12月	1～3月
ハングル	上級	—	6回・登録者12人	6回・登録者8人
中国語	上級	—	6回・登録者7人	6回・登録者6人
英語	平日	—	7回・登録者20人	7回・登録者22人
	週末	—	7回・登録者15人	7回・登録者13人

- ・各講座とも、観光施設等において実地研修を行うフィールドワークを実施。その際外国人市民をゲストに招き、実践的な活動を行った。

(2) ボランティアガイド活動

登録者による観光ガイドやイベント通訳等の支援を行った。

使用言語：英語

《ボランティアガイド登録：147人》

	月 日	内 容	種別	派遣人数 (人)
1	11月25日	アメリカ人 松山城観光案内	ガイド	1
合 計				1

3. ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人とホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図る。

○ホームステイ・ホームビジット

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施はなかった。

- ・登録家庭：199家庭

○My Matsuyama Family

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族とんでもらえる家庭と引き合わせ、4か月を目安として、ホームステイに限らない自由な交流を行ってもらい「My Matsuyama Family」を実施している。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

- ・登録家庭：249家庭

4. 生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制の生活サポートボランティア“オタスケマン”に同行してもらい、サポートを行った。

《オタスケマン登録者数：医療171人・日常393人》

(1) 医療同行サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	9月29日	皮膚科受診同行	1

(2) 日常生活サポート

	月 日	内 容	派遣人数 (人)
1	4月15日	運転免許高齢者講習の通訳	1
2	11月11日	運転免許認知機能検査通訳	1
3	11月20日	運転免許切り替えサポート	1
4	12月1日	運転免許切り替え実技（練習）サポート	1
5	12月8日	運転免許切り替え実技（試験）サポート	1

5. 民間国際交流団体等助成・支援

(1) 姉妹・友好都市との交流助成

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により申請はなかった。

(2) 後援

	月 日	事 業 名	団 体 名
1	7月8日	第37回マドンナ・レシテーション・コンテスト～中学生英語暗誦大会	松山東雲中学・高等学校
2	11月23日	姉妹都市提携40周年記念 姉妹都市交流ロゴマーク募集事業	サクラメント松山姉妹都市協会

6. 情報発信事業

(1) 情報冊子等による情報提供

生活に必要な情報を外国人市民へ提供するとともに、市民にもホームページ・メール・SNS等での情報発信を行った。特に今年度は新型コロナウイルス感染症関連の情報提供に努めた。

また、英語ボランティアガイドクラスが編集を行っている英文情報誌「What's Going On?」（月1回発行）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月より紙媒体での発行は休止し、ウェブ版で公開している。

(2) ホームページ・メールニュース・フェイスブックによる情報提供

イベント、講座等の情報のほか、外国人市民向けの生活情報も適宜、掲載・発信し、情報内容の充実に努めた。

○メールニュース

週1回定期発信、登録数：市民 2,079件・外国人市民 915件

(3) まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書等を収集し市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：41件

(4) ラジオによる広報

松山市のラジオ・テレビ広報番組を通して、協会の事業の広報を行い、市民への周知を図った。

	月 日	告 知 内 容	番 組 名
1	8月 1日	外国語観光ガイド講座の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
2	1月 2日	コムズフェスティバルの案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」
3	2月13日	地球人まつり2021の案内	ラジオ広報番組 「みんなの松山」

IV. もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努める。

1. レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

- ・設置台数 8台
- ・料 金 無料
- ・貸出件数 13件

2. 火災防ぎょ訓練

外国人住民および外国人観光客が防災について学び、体験できる機会として、松山東消防署およびホテル古湧園の共催により、火災防ぎょ訓練を実施した。

- ・日 時：3月2日
- ・場 所：ホテル古湧園 遥
- ・外国人参加者数：7人
- ・内 容：避難訓練、多言語通訳サービスの利用の仕方

V. 評議員会・理事会の実績等

令和2年度における評議員会・理事会の開催状況等

1. 評議員会の開催状況

○第1回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

出席等：決議事項について、評議員全員の書面による同意の意思表示を得た令和2年4月1日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

○第2回評議員会

開催日時：令和2年6月4日

決議事項：令和元年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

出席者：評議員3人（欠席1人）、理事2人、監事2人

○第3回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

出席等：決議事項について、評議員全員の書面による同意の意思表示を得た令和2年7月1日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

○第4回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

出席等：決議事項について、評議員全員の書面による同意の意思表示を得た令和3年2月17日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

2. 理事会の開催状況

○第1回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

公益財団法人松山国際交流協会事務局長の選任

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和2年4月1日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第2回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会業務執行理事の選任

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和2年4月1日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第3回理事会

開催日時：令和2年5月20日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター4階国際交流会議室

決議事項：令和元年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

令和2年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事8人、監事2人

○第4回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和2年6月30日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第5回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会補正予算

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事2人全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和2年8月28日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第6回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任

出席等：決議事項について、理事7人全員の書面による同意の意思表示、及び監事全員から書面により異議がないことの意味表示を得た令和3年2月16日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第7回理事会

開催日時：令和3年3月24日

開催場所：松山市男女共同参画推進センター5階大会議室

決議事項：令和3年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算等の承認

報告事項：職務執行の状況

出席者：理事8人、監事2人

3. 関連当事者との取引の内容

該当なし